

戸籍電算化がスタートしました



11/9 戸籍総合システム始動式

戸籍総合システム始動式が、飯館村役場窓口で行われ、戸籍の電算化がスタートしました。

始動式では、菅野村長が「戸籍の電算化で、より良い住民サービスを提供していきたい」とあいさつ。菅野村長、佐藤教育長がテープカットを行いました。その後、住民から申請書を受け取った菅野村長が、第1号の戸籍の証明書を交付しました。電算化をすることで、これまで時間がかかっていた事務作業が短縮されます。



▲(写真左から)テープカットを行う佐藤村議長、菅野村長、廣瀬教育長



▲第1号の戸籍証明書を受け取る申請者

また、手書きで書かれていた戸籍も紛らわしい書き癖等の字がなくなって、大変わかりやすくなりました。戸籍の電算化は、全国では約80%、福島県内では、飯館村を含めて約78%が導入しています。

新たな産品開発に向けて



▲季節に合った保存方法を学ぶ参加者

11/17 イータテ産品づくり技術講習会

村直売所連絡協議会(佐藤八郎会長)は、昨年度から県のサポート事業を受け、産品づくりや消費者との交流事業を実施しています。揚げ物、ご飯もの等の4コースのうち、今回は「海と山との交流」をテーマに、相馬地方調理師会の会員を対象とした加工体験講座を開催しました。村内の加工団体が、季節ごとの農産物の保存方法(塩漬け)の説明をした後、

塩漬けた農産物を使った漬物や物産づくりを行い、試食しながら意見交換を行いました。

また、個人、団体等がそれぞれ昨年からスーパー等でのイベント販売も積極的に行っており、今年7月からは、フレスコキチ北町店の「地場産品コーナー」で、飯館産の農産物や加工品が販売されています。同協議会では、「講座で学んだことを会員で共有して、より良い産品を作りたい」と新たな産品の開発に意欲を見せていました。



▲「イータテ食品フェア」では農産物・加工品を販売

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
菅野 颯くん	徳・秀美	草野
菅野 颯くん	徳・秀美	草野
鹿山 優香ちゃん	真史・芙希子	深谷
佐藤 駿太くん	良文・千鶴	前田・八和木
上田 釉都くん	隆男・小百合	新潟市

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
木幡 昌彦	伊丹
末永 瑞穂	深谷
佐藤 行貴	上飯桶
大鐘 優美	南相馬市

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 アキヨ	73	前田・八和木
菅野 武美	76	小宮
高橋 智	75	長泥宮
渡邊 清	90	小宮
佐藤 イシ	76	前田・八和木

ご冥福をお祈り申し上げます

(10月21日から11月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成21年11月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3105人(+4人)	3136人
女	3088人(+7人)	3142人
計	6200人(+11人)	6279人
世帯数	1720戸(+3戸)	1698戸

◆◆◆ 10月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆			
転入	21人	転出	12人
出生	7人	死亡	5人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

※お詫びと訂正 広報において、11月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
P21 交通安全キャンペーン(副) 飯館ライオンズクラブ(菅野一廣) ▶ (正) 飯館ライオンズクラブ(龜山真広)



「小さな村の生き残り策」

11月はフォーラムやシンポジウムと名のつく集いがめじろ押しのものでした。

まず、全国報徳サミットが、栃木県日光市で開かれました。この大会は約200年前、各地の農村の復興をして歩いた二宮尊徳翁の教えをもう一度考えてみる必要があるのではという自治体関係者の集まりでした。

尊徳翁の「至誠、勤労、分度、推譲」の教えは、わが村では直接受けてはいませんが、草野小学校には銅像があり、またその考え方を村では「まじらいライフ」に置き換えて進めており、この「まじらいライフ」の方が、むしろわかりやすいと注目もされているところです。

次に、「小さくとも輝く自治体フォーラム」(第14回)の全国大会が、福島県の大玉村で開催されました。

2500あった町村の数は、平成の大合併で989に減ってしまい、さらに47都道府県の中で、村がない県が13県、1

つだけの県が11県と、「村」と名のつく自治体が消え去ろうとしています。したがって、これからはむしろ「村は希少価値」になる時代です。小さな自治体同士が、互いに情報交換しながら小さくともキラリと光っているという主旨の大会でした。

一方、村でもすばらしい大会が開催されました。東北の「社会教育研究会」の開催地に、この飯館村が選ばれたのです。大きな市での開催でしたらいいが知らず、6200人の小さな村での開催は、社会教育を学ぶ地として、ふさわしいこととありましよう。

村内の方、10人近くが発表されたのですが、いずれの発言もとても内容の濃いもので、飯館村の「人づくり」が、一層評価されたようでした。

「若妻の翼」事業も、ちょうど20年。若妻も古い妻(失礼)になった方々から「村の将来を託す次の世代の女性たちにも私たちのような機会をぜひ」との要望も出されています。

「村づくり」は「人づくり」なんです。

平成21年11月27日

飯館村長 菅野 典雄